



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL: https://www.t-namakyō.jp/
発行責任者 高村尚

＝協組の動き＝

- (12月)
5日(月) 理事会(No. 1184)
19日(月) 理事会(No. 1185)
- (2023年1月)
5日(木) 新年賀詞交歓会
時間: 11時～
場所: 第一ホテル東京
10日(火) 理事会(No. 1186)
23日(月) 理事会(No. 1187)

MERRY CHRISTMAS



人事異動 【配属】

日付	部署	氏名
9月26日	業務部	寺崎 真理
12月1日	業務部	末竹 友春
12月1日	調整管理部	山縣 永治

【離職】

日付	部署	氏名
11月4日	業務部	細野 紀子

2022年 協組トピックス①

2022年はロシアのウクライナ侵攻を引き金として、当業界を取り巻く原材料価格高騰に更に拍車がかかり、急激な物価変動に対応する為の販売価格への迅速な転嫁に関する取り組みに終始する年になりました。年末を迎えるに当たり、この1年間における当協組を取り巻く出来事や当協組の活動について改めてご報告します。

【1月～3月】

1. 新年祝賀式開催(1月5日)

1月5日(水)に都内のホテルで登録販売店やセメントメーカー他関係者及び組合員各社の代表者約120名の参会の下に2年ぶりに新年祝賀式を開催。斎藤理事長が年頭挨拶の中で、本年度の最重点課題として値上げの実施時期と改定幅に言及、各関係先に価格改定への理解・協力を要請。

2. 6月1日からの生コン販売価格の改定実施決定(1月11日)

1月11日に開催した理事会において以下の価格改定実施を決定。

- (1)生コンクリート価格の改定(値上げ)
①改定幅 1m³当り 3,000円の値上げ
②実施日 2022年6月1日引合受付分より
- (2)軽量コンクリートの価格スライド改定
①改定額 普通コンクリート・スライド価格+8,300円/m³(旧スライド+1,000円/m³)
②実施日 2022年6月1日引合受付分より

3. 記者懇談会・登録販売店会議開催(1月13日)、オーナー会議開催(2月2日)

2022年6月1日からの大幅な値上げ実施が組合員各社の経営に大きな影響を及ぼすことになる為、内外に広く周知することと各関係先の協力を仰ぐこと

が必要となることから、いずれも本改定実施の内容説明を行う為に開催。

4. 単位水量試験の動画収録・配信

3月16日に当協組組合員の城北小野田レミコン(株)の試験室において実施され、スランプが許容範囲内であれば単位水量に間違いがないことを確認。収録した動画を当協組ホームページで公開し配信。

【4月～6月】

1. 登録販売店契約更新(4月1日付け)

2月～3月にかけて実施された登録販売店各社との個別ヒアリングの結果を踏まえ、31社と「登録販売店取引基本契約」を4月1日付けで更新。併せて4月1日付けで同基本契約書の規定の一部の改定(「担保取得基準の明文化」及び「守秘義務条項の追記」)実施。

2. 記者懇談会開催(4月22日)

日本経済新聞社を含む報道6社及び建設物価・経済両調査会の出席により開催。当協組の現状や市況対策の取り組み状況についての具体的な説明を行い、旧契約価格の引上げ、6月1日引合受付分以降の3,000円/m³の値上げ実施に向けた各種の施策に関する対外周知を実施。

3. 登録販売店会議開催(5月12日)

登録販売店31社全社出席により開催。市況対策の他、営業・調整管理・技術各関連事項に亘って当協組の取り組み状況を説明し、協力を要請。

4. 第46回通常総会開催(5月23日)

直近2年間は新型コロナウイルス感染防止対応の為、書面決議開催としていた通常総会を3年ぶりに集合形式で都内のホテルにて開催。斎藤理事長の冒頭挨拶の後、議長に常任理事の鈴木孝行氏が選任され、全議案が承認可決。尚、本通常総会において3名の理事辞任に伴う補充選任が議案審議され承認。

セッション10

吉田 博



カーボンニュートラル 2050
私たち地球の未来はどうなっていくのか。

氷河の氷は2100年までに3分の1が消滅してしまうのか。今日までの科学・産業の発展に依りより良い生活をしてきた結果、地球温暖化が進み多くの自然災害・漁業・農業への影響は誰も想像されていなかったのでは。自然環境を元に戻す事は出来ないにしても未来のため私達に出来ることは少しでも温暖化をおさえる事が大事であり、二酸化炭素を増やさない対策としての再生エネルギーに着目したいと思います。

再生エネルギーには『太陽光発電』『風力発電』『地熱発電』『水力発電』『バイオマス発電』がありますが、この中で天候に左右されない水力発電を東京で出来るのではと考えます。

東京には埋立地がいくつもあります。その中で川の水が流れ込まない海水のみの大きな海水湖を作り潮の干・満を利用する。1つは江東区新木場の貯木場。普段の生活では気づきにくいですがコの字形で原

木が浮いてない約570,000m²の水面。それと2020東京オリンピック・パラリンピックのカヌー・ボート競技場である海の森水上競技場。この場所は東西両サイドが開閉式になって460,000m²の水面があり、この2ヶ所合わせ1,030,000m²(東京ドーム22ヶ分)の海水湖が作れます。この海水湖を利用し1日に2回ずつ有る潮の干・満往復で4回平均1mの水位差として1,030,000tの海水力発電を行う。今後海面が上昇することに依る潮の干・満差はどうなるか。

別途、二酸化炭素対策として現大型車両(10t積載)について、車輛の安全性・道路・橋梁の強度が確保され、大型車両(11t積載)に変える事が出来れば全国の大型車が10%減りドライバー不足も解消されるのではないのでしょうか。

最後にリニア新幹線に乗ることを楽しみにしているのですが、大地震が起きた場合、トンネルの側壁・天井が上下・左右に揺れた場合、リニアの安全はどう確保されているのか教えてほしいと思います。

(吉田建材株式会社 代表取締役)

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	11月(実績)	12月(月初想定)	11月(実績)	
	前年比	前年実績比		前年比
大型	203,910 m ³ 96.5%	230,000 m ³ 117.2%	引合	58,868 m ³ 22.6%
小型	30,017 m ³ 89.7%	30,000 m ³ 92.9%	成約	52,528 m ³ 23.1%
計	233,927 m ³ 95.5%	260,000 m ³ 113.8%	契残	4,890,820 m ³ 140.7%

2022年 協組トピックス②

【7月～9月】

1. 残コン有償化制度導入開始の決定(7月25日)

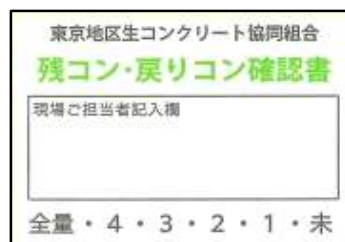
持ち帰りコン(戻りコン及び残コン)の削減に向けた抑止力の強化を図る為、戻りコンと同様に残コンの有償化を実施することとし、7月25日に開催した理事会において以下内容にて承認決定。

- (1) 試行期間 2022年10月1日～2023年3月31日(周知期間)
- (2) 取消料の徴収開始時期 2023年4月1日出荷分より適用
- (3) 有償化の概要

項目	実施内容
有償料金	1㎡当り 10,000円(戻りコンと同様)
残量確認方法	①現場担当者立ち合いの下、運転手による目視確認 ②「残コン・戻りコン確認シール」を納入伝票の裏面に貼付し、目視確認の結果、シールに記載している残数量区分の中から該当する数量を選択

※残コン有償化 PR ポスターを製作し、当協組ホームページにも掲示済み(9月)

「残コン・戻りコン確認書」のシール



2. 原材料等価格動向調査実施(8月)

セメント購入価格を始めとする原材料費や輸送費、産廃処理費等の上昇の状況について、前年度に実施した調査時以降のコストアップに関する組合員へのアンケート調査を実施。

3. 10月1日からの生コン定価見直し実施決定(9月12日)

諸資材の高騰が恒常的に継続していることから、需要家に対して旧契約物件に対する価格の見直しの協力を求めることとし、9月12日に開催した理事会において以下内容の改定実施を決定。

- (1) 実施時期 2022年10月1日出荷分より
- (2) 改定内容 旧契約物件の販売価格 500円/㎡引上げ

4. 「契約方式の見直し」並びに「2023年4月1日からの生コン価格の値上げ及び軽量コンクリート価格のスライド改定」の決定(9月26日)

2023年4月1日より、毎年度1年間を有効期間とする「出荷ベース」での価格取り決めを主眼とする「契約方式の変更」と生コン販売価格の2,000円/㎡の値上げを実施することとし、9月26日に開催した理事会において以下のとおり決定。

(1) 契約方式の変更

- ① 実施時期 2023年4月1日より
- ② 主な変更内容

項目	主な変更内容
方式	出荷ベース
スキーム	毎年4月1日付けにて販売価格の見直しを実施する。
旧契約価格	軽量コンクリートを除き、最長で2年間の現行価格適用の経過措置を実施する。

- (2) 2023年4月1日からの生コン販売価格の値上げ(改定実施内容) 1㎡当り 2,000円/㎡の値上げ
- (3) 2023年4月1日からの軽量コンクリート価格のスライド改定について(改定実施内容) 普通コンクリート・スライド価格 +10,500円/㎡ (旧スライド+2,200円/㎡)

【10月～12月】

1. 記者懇談会・登録販売店会議・オーナー会議開催(10月13日)

契約方式の変更、生コン販売価格の値上げ等に関する対外周知、協力要請、組合内部の意思疎通を図ることを目的として、いずれも同日に開催。

2. 建設物価・経済両調査会物価版表示価格の大幅上伸(11月号及び12月号)

調査会	掲載月号	改定幅	表示価格(東京地区)
建設物価調査会	11月号	+2,800円/㎡	17,800円/㎡
経済調査会	12月号	+3,000円/㎡	17,900円/㎡

2023年も引き続き協組諸施策への取り組みを実施してまいりますので、組合員各社を始め各関係先の皆様のご高配を賜りますようお願い致します。

わが社の安全対策

日立コンクリート(株)

安全な職場環境を形成するためには、経営者と従業員が一体となり、早期に危険要因を発見し、事故の発生を未然に防ぐことが必要です。慣れや過信を捨て、事故防止に取り組む意識のもと、日々の安全活動を推進し、安全な職場環境を継続的に維持することが重要です。

当社では、「安全衛生委員会」を組織し、事業所毎に、「統括安全衛生管理者」「安全管理者」を任命し、本社役員、工場従業員及び輸送会社で工場を巡回する「安全パトロール」を定期的実施しています。参加者全員で設備を点検しながら、不安全な箇所はないか、前回の指摘ポイントは改善出来ているか、更により良い作業方法はないか等を確認しています。パトロール後のミーティングでは、気付き事項を出し合い、普段工場で勤務する目線では見過ごしてしまう箇所も、違う視点で確認することにより、新たな危険箇所・不安全作業の早期発見に繋がっています。

これまでに、改善・見直した事例は、
①洗車場ステップ台座の設置 ②脱水機室充填ポンプ交換用吊具装置の設置 ③構内照明の追加設置 ④骨材受入操作の遠隔化 ⑤恒温水槽循環装置オーバーヒート防止装置の設置 ⑥ポンプ振れ防止装置の設置 ⑦中継棟下洗浄水用樋の設置 ⑧鋼材吊具装置の設置 ⑨洗車ホース増設 ⑩プラント内フロア作業場設置 等々

また、生コン工場は製品を現場に届ける輸送業務があり、交通安全対策の取り組みとして、出荷前にミキサー車ドライバーを対象に工場従業員も参加し合同で「朝礼」を実施しています。ミーティングは、重要な伝達事項の周知と情報を共有、徹底を図る場として有効です。

①事故事例を始めとする安全運転に対する再徹底 ②当日の現場搬入ルートの周知 ③待機場所の確認 ④その他工場内安全事項の徹底 を行い、昨今、情報を共有するには、一斉送信メール等も有効ですが、朝礼の場でお互いに顔を合わせて情報を伝達することにより、その場にいる全員が共有でき、発信者も伝えたいという確証を得ることができ、『おはようございます』と声に出して挨拶することは、1日の始まりを意識させ、『今日も安全に仕事をすぞ!』という気持ちの切り替えになります。

さらに、出発前のミキサー車ドライバーへの納入伝票受け渡しは、「伝票渡し係」を1人専属で配置し、必ず手渡しで行い、その際には諸事項を口頭で直接運転手に伝えることにより、交通事故防止・誤納防止に対する効果を一層高めています。

今後も工場と輸送会社が一体となり、各自が安心・安全確保を徹底し、安全な職場環境の継続に努め「安全な環境でなければ、良い製品は製造できない」を念頭に、労働災害ゼロ活動を推進していきます。